

宮崎県公立高校入試徹底分析【社会】

【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	100点
問題構成	大問4題。地理・歴史・公民の分野ごとに大問各1題と3分野融合問題が一題。 地理は、世界地理分野で14点、日本地理で15点。合計29点。 歴史は、原始から近世分野で16点、近代から現代分野で14点。合計30点。 公民は、政治分野から13点、経済分野から16点。合計29点。三分野融合問題から12点分出題された。 論述問題が13問と増加し、配点も39点となった点が昨年度との大きな変更点。		

	令和7年度(2025)	令和6年度(2024)	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)	令和3年度(2021)
問題量(A4で)	14ページ分	14ページ分	14ページ分	14ページ分	14ページ分
小問数	39問	40問	36問	33問	42問
論述問題の数	13問	6問	5問	9問	13問
論述問題配点	39点	20点	20点	30点	51点
合格者平均点	51.4	55.9点	62.0点	59.5点	52.7点

【出題の傾向と対策】

- ① 論述問題は三分野とも穴埋め形式のものが多く出題され、複数の資料を読み取り、空欄に入る内容を考える問題が多い。近年では、選択肢から当てはまる内容を選ぶ問題も出題されている。

R6 大問1-1(4)

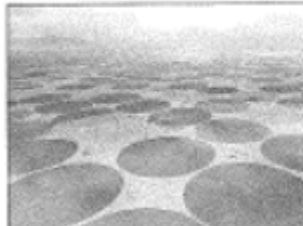
(4) 早希さんは、資料1のアメリカでは、肉牛の飼育が盛んな資料5のグレートプレーンズという地域において、資料6のような農業も行われていることを知りました。そして、調べていく中で資料7を見つけ、グレートプレーンズにおける農業について下のようにまとめました。資料6、7に関連づけて、に入る適切な内容を書きなさい。

資料5 グレートプレーンズ



グレートプレーンズには、「オガララ帯水層」という世界最大級の地下水が存在する

資料6 センターピボット方式を用いたかんがい農業



たくさんのスプリンクラーが付いた装置がくみ上げた地下水を散水しながら回し、乾燥した地域でも農業が可能になる

資料7 オガララ帯水層の地下水位

オガララ帯水層の地下水位について、1950年代から2015年までの間に、ある地点では約70メートル低下した。

早希さんのまとめ（一部）

資料6、7から、グレートプレーンズでは、かんがい農業に地下水を利用しているが、現在の状況が続くと、今後、という問題が発生する可能性があると考えられる。

①資料の読み取りを行い、空欄にあてはまる内容を考える。空欄の前後の文章をよく読み適切な内容を書けるようにしよう。

② 歴史分野では、日本の歴史と世界の動きに関する問題が例年出題されている。

R7大問2-1(3)

(3) 奏美さんは、カードCの下線部に関して、奈良時代から平安時代の国や郡の政治について資料3を見つけ、「なぜ九州には、他の地方と違って大宰府が置かれていたのだろうか」という疑問をもち、資料4を使って下のような仮説を立てました。資料4をもとに、に入る適切な内容を書きなさい。



資料4 奏美さんが見つけた資料

7世紀半ばの東アジア

大宰府で発見された、平安時代初めに伝来した中国の青磁

年	7世紀の九州のおもなできごと
630	初の遣唐使が博多湾から出発
663	白村江の戦いに敗北 九州北部に防人を設置

(「大宰府市ホームページ」より作成)

奏美さんの仮説

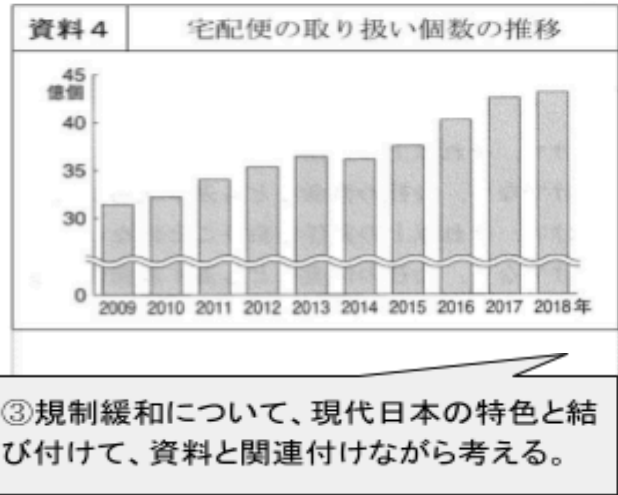
資料3のように、九州に大宰府が置かれていたのは、資料4から、九州がにおいて重要な役割を担っていたためだろう。

②資料から、大宰府が防衛と外交の要所であったことを読み取ろう。

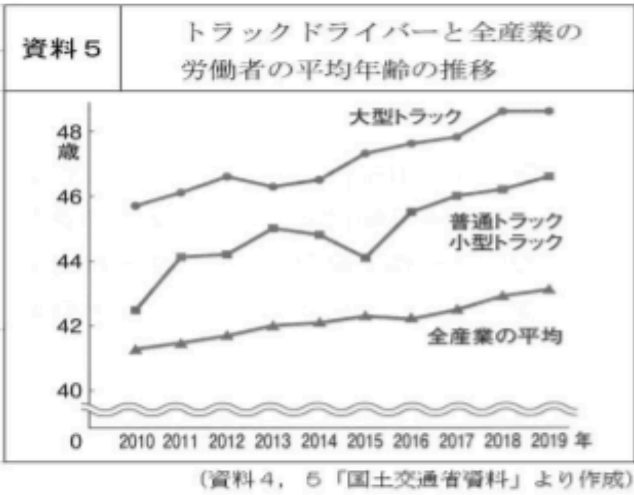
③ 公民分野では時事的な内容や身近なテーマ、社会的な課題からの出題がよく見られる。

R4 大問3 1(4)

1□(4)□伸子さんは、資料1のスライドDに関して調べていく中で、ドローンの飛行ルールについての規制緩和が進み、宅配便などを運ぶ実験が行われていることを知り、「なぜドローンによる物流の実用化に向けた取り組みがみられるのだろうか」という疑問をもちました。そこで、資料4、5を使って、下のように仮説を立てました。資料4、5を関連づけて、に入る適切な内容を書きなさい。



③規制緩和について、現代日本の特色と結び付けて、資料と関連付けながら考える。



(資料4、5「国土交通省資料」より作成)

伸子さんの仮説

ドローンによる物流の実用化に向けた取り組みがみられるのは、資料4、5から、ことが予測されるため、規制緩和によって新たなサービスを生み出してトラック輸送の一部を補おうとしているからだろう。

解答 R6 1(4)(例)地下水の減少が進み、かんがい農業ができなくなる R7 1(3)(例)防衛や外交

R4 3(4)(例)増加する宅配便の需要に対し、トラックドライバーの高齢化が進み労働力が不足する